

### 腸管出血性大腸菌感染症

2015年は、20週以降毎週届出があり、27週には7例の届出があった。1週から27週までに46例の届出がされている(図1)。例年届出が増加する時期であるため、2015年に届出された46例の発生状況をまとめた。

性別では、男性22例(47.8%)、女性24例(52.2%)だった(表1)。

年齢群別では、20代が9例(19.6%)で最も多かった(表1)。

類型別では、患者37例(80.4%)、無症状病原体保有者9例(19.6%)だった。

患者37例の症状等は、水様性下痢30例(81.1%)、腹痛26例(70.3%)、血便16例(43.2%)、発熱9例(24.3%)、嘔吐9例(24.3%)で、溶血性尿毒症症候群(HUS)は報告がなかった(複数報告あり)。

O血清群別では、O157が21例(45.7%)、不明が9例(19.6%)、O111が6例(13.0%)、O121が3例(6.5%)、O91が2例(4.3%)、O5が1例(2.2%)、O26が1例(2.2%)、O103が1例(2.2%)、O113が1例(2.2%)、O115が1例(2.2%)だった。

図1 2015年千葉県の腸管出血性大腸菌感染症 週別・類型別届出数 46例

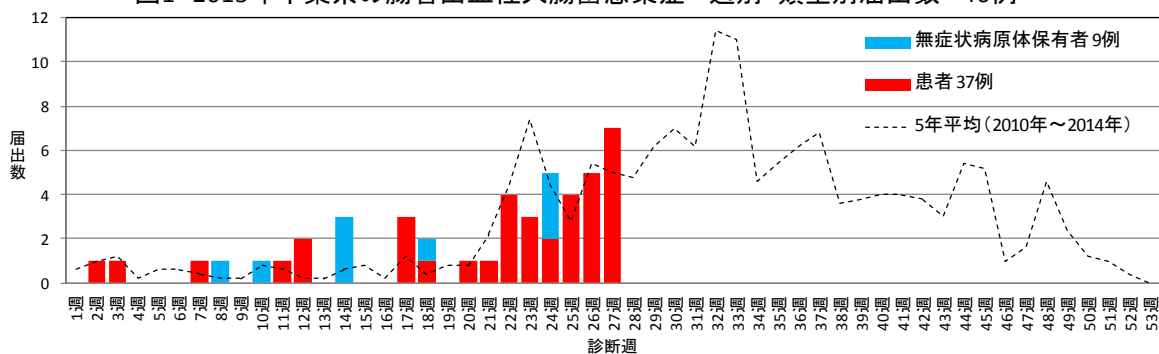


表1 2010年～2015年27週千葉県の腸管出血性大腸菌感染症 年別・性別・年齢群別届出数

	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		合計	
	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性別														
男性	50	40.3	72	35.1	68	46.9	56	43.1	89	48.1	22	47.8	357	42.8
女性	74	59.7	133	64.9	77	53.1	74	56.9	96	51.9	24	52.2	478	57.2
年齢群														
5歳未満	14	11.3	56	27.3	34	23.4	23	17.7	40	21.6	4	8.7	171	20.5
5～9歳	18	14.5	32	15.6	20	13.8	11	8.5	27	14.6	6	13.0	114	13.7
10代	14	11.3	16	7.8	16	11.0	17	13.1	30	16.2	5	10.9	98	11.7
20代	22	17.7	30	14.6	19	13.1	27	20.8	18	9.7	9	19.6	125	15.0
30代	19	15.3	19	9.3	20	13.8	17	13.1	17	9.2	6	13.0	98	11.7
40代	7	5.6	8	3.9	13	9.0	10	7.7	13	7.0	3	6.5	54	6.5
50代	14	11.3	15	7.3	10	6.9	9	6.9	8	4.3	5	10.9	61	7.3
60代	9	7.3	8	3.9	8	5.5	9	6.9	14	7.6	3	6.5	51	6.1
70代	4	3.2	4	2.0	5	3.4	5	3.8	11	5.9	3	6.5	32	3.8
80代	2	1.6	15	7.3	0	0.0	2	1.5	6	3.2	2	4.3	27	3.2
90代	1	0.8	2	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.4
100歳以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	0.1
合計	124	100.0	205	100.0	145	100.0	130	100.0	185	100.0	46	100.0	835	100.0

過去の発生状況は千葉県感染症情報センターホームページをご参照ください。